

全国クラブ大会

ラグビーの全国クラブ大会第2日は21日、京都市の玉が池球技場などで2回戦4試合があり、5大会ぶりの優勝を目指す兵庫の六甲ファイティングブル（FB、近畿）は12-9で駒場WMM（首都圏）に逆転勝ちし、準決勝に駒を進めた。

▽2回戦

六甲ファイティングブル	駒場WMM
12	9
120	3
3	9

（近畿）

六甲FBは0-6で迎えた後半7分、WTB三木がキックパスをインゴールで抑えてトライ。同14分にはCTB村尾が個人技で突破し、中央にトライを挙げた。  
北海道バーリアンズ（北海道）、調布三鷹オールカマーズ（首都圏）、RKUラグビー龍ヶ崎・ドラゴンズ（北関東甲信越）も4強に進出した。

第3日は2月4日、名古屋市のパロマ瑞穂ラグビー場で準決勝があり、六甲FBはRKUラグビー龍ヶ崎・ドラゴンズと対戦する。  
（成績は関係分）

# 六甲FB逆転で4強進出

## 執念の守備「気持ちで勝った」

3点リードの試合終了間際、六甲FBは自陣ゴールライン手前で執念の防御を繰り返した。「相手の気迫もすごかったが、一人一人の気持ちで勝った」と中村主将。最後は相手のパスミスを誘い、苦しみながらも初戦を突破した。

持ち前の攻撃力是不発だった。前半は無得点。後半7分ようやく一本返すと、同14分、相手ラインアウトのボールを奪って左に展開。CTB村尾が守備網を破って約60分の独走トライを挙げた。までは良かったが、再び我慢の時間帯が続いた。それでも失点をPG3本にとどめ、ノートライに抑えた。「ここで負けるわけにはいかないとい

う強い思いがあった」と東田総監督は接点での粘り強さをたたえた。  
3大会連続で敗れ、昨年は引き分けの末に抽選で涙をのんだ準決勝の舞台へ、今年も戻ってきた。「昨年はシンビン（一時的退場で迷惑を掛けた。借りを返したい）と村尾。5度目の挑戦で壁を破れるか。」  
（山本哲志）



駒場WMM-六甲ファイティングブル 試合終了間際、自陣深くで気迫のディフェンスを見せる六甲ファイティングブルの選手たち